

財政健全化計画等執行状況調書

団体名	新潟県佐渡市
会計名	病院事業会計

1. 地方債現在高・公営企業債現在高

(i) 推移表

(単位: 百万円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	基準年度
計画目標値 A	1,752	1,502	1,251	1,046	934	1,979
実績(見込)値 B	1,753	1,483	1,227	1,014	897	
乖離値 C(B-A)	1	-19	-24	-32	-37	-1,082
乖離率 D(C/A)	0.1%	-1.3%	-1.9%	-3.1%	-4.0%	-55%

※実績値には下線を引くこと。

(ii) 実績値が計画承認時の目標値に届かない理由

○端数処理の違いによる。
(実際の平成19年度末残高は1,752,711,010円です。)

(iii) 改善に向けての取組み及び今後の見通し

○今後の見込みとしては、借換の際に当初の予定よりも償還期間を短縮したことにより、残高の減少は早くなります。
○今年度も企業債1件(利率6.6%)の繰上償還(約53百万円=借換債)を予定しております。

2. 実質公債費比率・累積欠損金比率

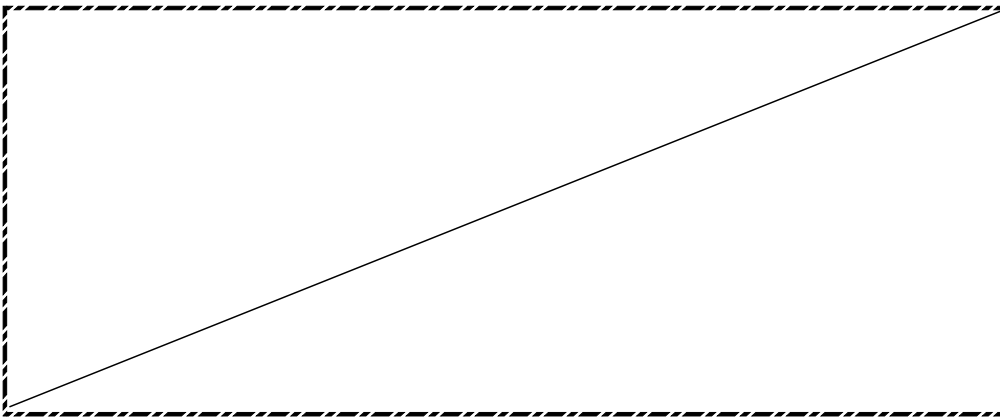
(i) 推移表

(単位: %)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	基準年度
計画目標値 A	189.59%	204.46%	222.69%	238.18%	233.33%	174.36%
実績(見込)値 B	<u>179.94%</u>	185.89%	189.82%	192.65%	175.82%	
乖離値 C(B-A)	-9.65%	-18.57%	-32.87%	-45.53%	-57.51%	1.46%
乖離率 D(C/A)	-5.1%	-9.1%	-14.8%	-19.1%	-24.6%	0.8%

※実績値には下線を引くこと。

(ii) 実績値が計画承認時の目標値に届かない理由



(iii) 改善に向けての取組み及び今後の見通し

○収支決算は引き続き赤字であるため、累積欠損金比率は上昇してしまいます。

○今年度は計画よりも医業収益が伸びたことにより、比率の上昇が小さくなりました。

○今後は改革プランの策定に向け、不採算業務の見直しについても検討中です。

3. 職員数

(i) 推移表

(単位:人)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	基準年度
計画目標値 A	192	190	187	185	185	194
実績(見込)値 B	190	181	181	180	181	
乖離値 C(B-A)	-2	-9	-6	-5	-4	-13
乖離率 D(C/A)	-1.0%	-4.7%	-3.2%	-2.7%	-2.2%	-7%

※実績値には下線を引くこと。

(ii) 実績値が計画承認時の目標値に届かない理由

(iii) 改善に向けての取組み及び今後の見通し

○業務委託化により職員数が減少しています。

○今後の見通しとしては定年退職予定者もありますが、専門職については、必要な人員は確保し、その他の業務については、臨時職員や業務委託で対応可能かどうか検討していきます。

4. 改善額

(i) 推移表

(単位:百万円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	合計	補償金免除額
計画目標値 A	27	50	75	102	222	476	135
実績(見込)値 B	32	89	121	121	239	602	
乖離値 C(B-A)	5	39	46	19	17	126	467
乖離率 D(C/A)	18.5%	78.0%	61.3%	18.6%	7.7%	26.5%	346%

※1.実績値には下線を引くこと。

※2.補償金免除額合計欄には、当該計画の「I 基本的事項5線上償還希望額等」の補償金免除額欄の合計に記載している金額を記入すること。

(ii) 実績値が計画承認時の目標値に届かない理由

(iii) 改善に向けての取組み及び今後の見通し

○医事業務の委託(平成19年度からの3ヵ年計画)及び管理業務等の委託により、人件費の削減に取り組めます。(両津病院)

○医事業務の委託(平成20年度から)により、人件費の削減に取り組めます。(相川病院)

○平成20年度～平成21年度にかけて、医師以外の人件費を3%削減することにより改善額が増加します。